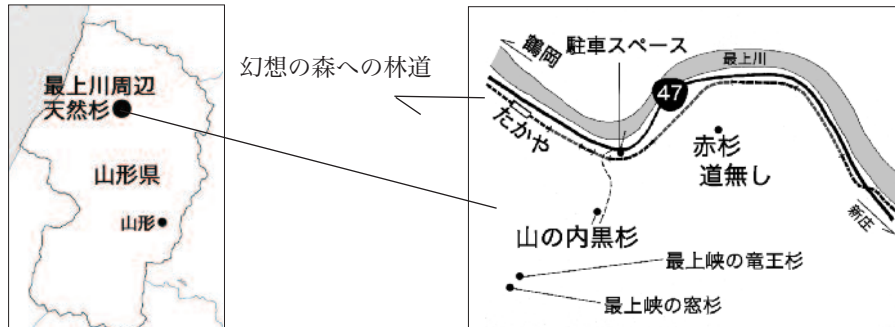


# f その他の天然杉

## f-1 最上川周辺の天然杉

近年発見された天然杉の巨木で、3ヶ所に分布している。赤杉を中心にした山地と、山の内黒杉を中心にした山地、そして、土湯杉を中心にした幻想の森である。この内、黒杉と土湯杉へはルートがあるが、赤杉や竜王杉・窓杉へは、ガイド無しに到達できない。



2015年現在

評価 AA 国指定特別天然記念物級 A 国指定天然記念物級 B 都道府県指定天然記念物級 C 市町村指定天然記念物級

評価	巨木名称	幹周	樹高	所在地	天然記念物指定
A	赤杉 写真 M-001	M11.6m(1.3m 2007)	30m	山形県最上郡戸沢村山の内	
A	最上峡の竜王杉 写真 M-002	M10.17m(1.0m 2014)	30m	〃	
B	最上峡の窓杉 写真 M-003	株周 M8.54m (上部 0.2m 2014)	30m	〃	
C	土湯杉 写真 M-004	株周 M11.0m(0.5m 2007)	25m	〃	
C	山の内黒杉 写真 M-006	株周 M11.3m(0.3m 2007)	25m	〃	

### 幻想の森の天然杉群生

土湯杉がある幻想の森は、天然杉が群生する台地。太古の世界を彷彿とする光景に圧倒される。





▲赤杉・下部から見た樹形。



▲写真 M-001

あかさぎ  
赤杉

地上2~3mで5分岐、上部は多数に枝分かれし、細い幹は直立する。どのような理由かわからないが、樹皮が所々剥がれて赤く見える事が名前の由来。斜面上部より見ると、手のひらを上向きにした樹形で、下部からは実に堂々としている(上左写真)。これは、古株更新による樹形である。

写真 M-002

もがみきょう りゅうおうすぎ  
最上峡の竜王杉

黒杉より道の無い原生林を登った尾根の中腹にあり、古株更新の樹形である。2mで5分岐、次の窓杉の20m手前にある。

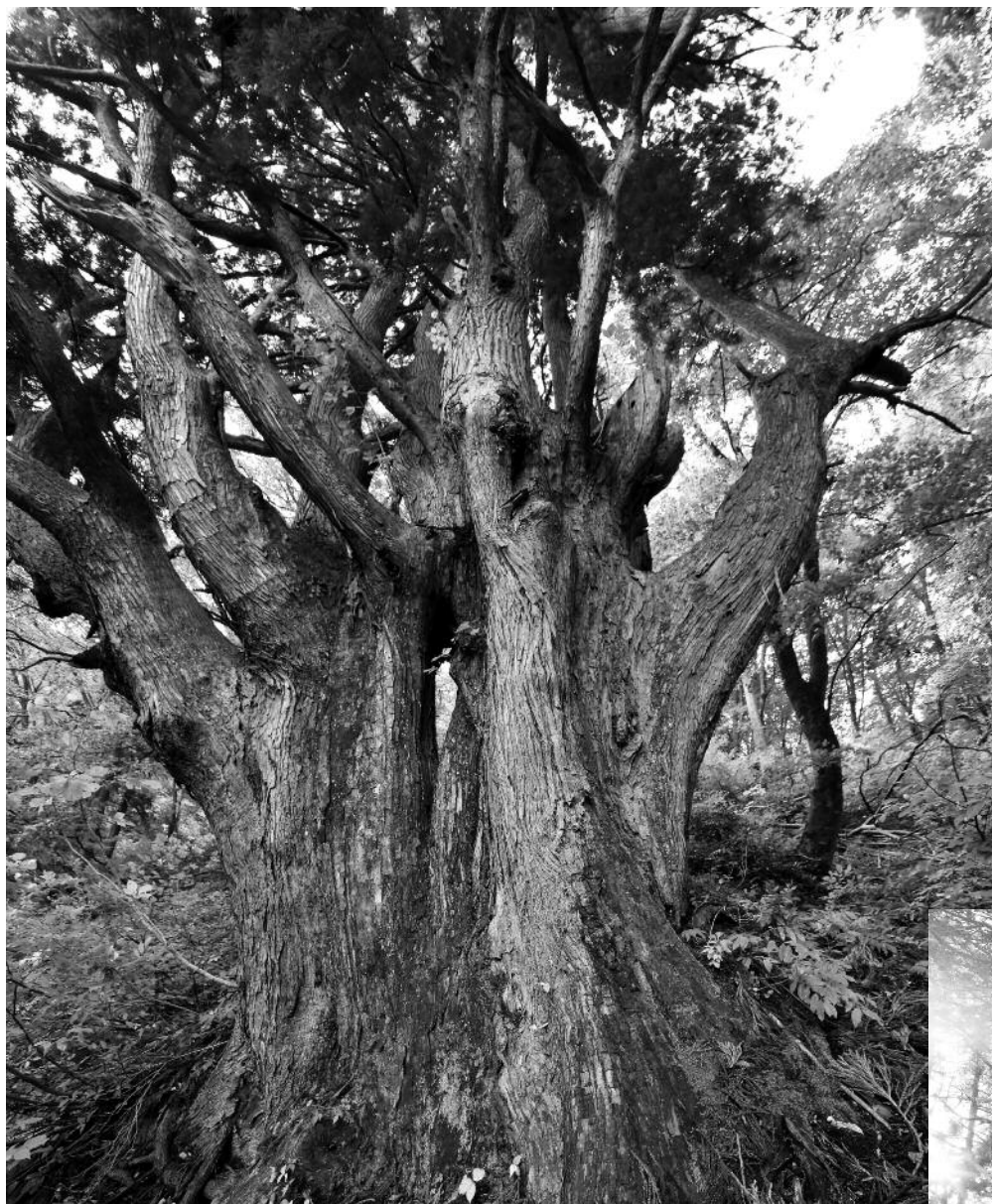


写真 M-003  
もがみきょう まどすぎ  
**最上峡の窓杉**

竜王杉の隣にある天然杉で、根元で2分岐、1.5mで融合し、窓が開くように見える。古株の痕跡がないが、根元で伏条幹が立上がったものと考えられる。



写真 M-004  
つちゆすぎ  
**土湯杉**

環境省の調査で幹周18.5mと発表されたが、どのように測定した数字なのか判然としない。根元で3分岐する樹形は、実生伏条幹である事を物語る。



写真 M-005  
やまのうちくろすぎ  
**山の内黒杉**

株周?とは意外だが、実は根元で2分岐して立上がっている。画像の方向からは幹が重なって見える。実生伏条幹が立上がった樹形。上部でよく分岐する。周辺の森の中には天然杉が林立していて、太古の世界の様相を呈している。樹肌が黒い事から命名。